

社協だより

市民誰もが自分らしく輝き、支え合う
福祉のふるさとづくり

うんちゃん

2026

1月

84号

主な内容

- P.2 年頭のあいさつ・成年後見制度・法人連絡会研修会
- P.3 子ども食堂
- P.4 新評議員就任のお知らせ・介護の入門的研修・保育所の話題・令和7年度寄贈のお礼

編集・発行



社会福祉法人 雲南市社会福祉協議会

〒690-2404

島根県雲南市三刀屋町三刀屋1212-3

雲南市三刀屋健康福祉センター内

TEL.0854-45-9888 FAX.0854-45-2211

E-mail: unnan-shakyo@unnanshakyo.jp

ホームページ: <https://unnanshakyo.jp/>



地域のつながり・居場所をつくる

子ども（地域）食堂

（関連記事は3ページに記載）

△おいおい食堂（大文町：三新塔）

明けましておめでとーございます

皆様には、輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。雲南市社会福祉協議会の事業につきましては、日頃より、温かいご支援とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、社会構造の変化等により、家族や地域、職場などにおける「人と人とのつながり」の希薄化が指摘される中、悩みや困りごとが生じた際、誰にも相談できず、事態が深刻化、複雑化する事例が多く見られるようになり、身近な地域における孤独・孤立対策の必要性が高まっています。こうした状況に対し、全国では、地域における居場所づくりの一環として、こども（地域）食堂を開設する動きが活発となっており、この雲南市においても、現在、十二カ所のこども（地域）食堂が開設され、同様の取組が進んできています。

本会でも、「第五期雲南市地域福祉活動計画」に基づき、孤独・孤立対策に資するよう、こども（地域）食堂の開設・活動への支援はもとより、サロン活動や住民同士の助け合い、福祉教育などに、積極的に取り組んでいきたいと考えております。

また、地域福祉を担う中核的機関として、経営理念『市民誰もが自分らしく輝き支え合う福祉のふるさとづくり』の具現化を着実に進め、本会の責任を果たしていく決意です。

この経営理念の実現に向け、行政や地域自主組織、また関係機関、団体等の皆様との連携強化を図って参りたいと考えております。また、市民の皆様には、引き続きのご理解とご協力、そしてご参加をいただきますよう心からお願い申し上げます。

本年も雲南市の地域福祉推進のため、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げまして新年のご挨拶とします。

令和八年元旦

社会福祉法人雲南市社会福祉協議会

会長

大場 篤
役職員一同

7/19

成年後見制度講習会を
開催しました

「将来、認知症などになって財産管理やいろいろな手続きができなくなったらどうしよう」といった不安への備えとして、成年後見制度などの制度について知っていただく市民向け講習会を開催しました。

頼れる人が近くにいない、家族に負担をかけるたくないなど、受講の理由は様々でした。講師のうんなん終活支援センター松尾澄美行政書士からは「今すぐに必要ではなくても、どんな制度があるかを知っておくことで将来への心構えができる」と説明がありました。

（この研修は、雲南市からの委託を受け、うんなん終活支援センターとの共催で開催したものです。）



▲講師先生と聴講している受講者の様子

11/14

雲南市内福祉関係者
合同研修会を開催しました
～雲南市社会福祉法人連絡会～

雲南市社会福祉法人連絡会（白根康久会長）は、行政や市立病院と共催して雲南市内福祉関係者合同研修会を雲南市役所で開催しました。講師に雲南市にゆかりのある社会福祉法人豊中市社会福祉協議会事務局長勝部麗子さんを迎え「誰一人取り残されない地域をつくる～住み慣れた地域で暮らし続けるために私たちができること～」と題する講演を関係者65名が聴講しました。参加者は、地域や社会とのつながりが少ない方への対応や支援方法として、関係者の連携と協働実践につなげることの重要性などを学び合い研鑽を積みました。

法人連絡会からは、地域社会への貢献として取り組んでいる「身近でなんでも相談窓口ネットワーク事業」の今後に活かそうと、窓口担当者22名が参加し支援方法の知識や理解を深めました。



▲講師、豊中市社会福祉協議会事務局長勝部麗子さん



▲講演を聞く行政、市立病院、法人連絡会の関係者



△キッチンさせ (佐世)



▲子ども地域食堂 ふらっと (大東)

雲南市の子ども(地域)食堂 ～居場所をつくる～

笑顔で食事をする参加者たち。食事前の別室では大人たちも一緒にゲームなどで交流を楽しみます。開催日には、たくさん地域の皆さんがやってきます。



子ども食堂は、食事が無料や安価で提供され、子どもが一人で来ても食事が食べられる所として理解されてきました。しかしこれは、子ども食堂が全国で活動し始めた当初の役割で、最近子どもや親子への食事の提供のみならず、子育てをする保護者さんへの食事の準備、子ど

平成二十四年に東京都大田区で誕生した子ども食堂は、現在では全国で一万余所を超えています。

楽しみながら…

「子ども(地域)食堂」。言葉は知っていても、その活動内容をご存じない方も多いのではないかと思います。そこで、子ども食堂とは何か、県内の子ども食堂を支援する「しまね子ども食堂ネットワーク」事務局(島根県社協)の梶谷さんに伺いました。



島根県社会福祉協議会 地域福祉部
子ども食堂推進コーディネーター
梶谷 友貴さん(大東町出身)



▲陽だまり食堂(掛合)



▼だれでも食堂ピース(海潮)

もの遊び場や勉強の場、地域の多世代間交流の場、孤食の予防など、いろいろな役割を持ち地域や場所によって取組みも違います。県内では百五十カ所、雲南市内でも多くの子ども(地域)食堂が誕生しています。どの食堂も開催を重ねるうちに工夫を凝らし楽しみながら運営されています。

子ども食堂運営者、雲南市役所、県社協子ども食堂コーディネーターなど、三十一名が参加されました。後半はグループに分かれて各食堂の強みや特徴、課題などを話し合い熱気ある意見交換となりました。

今後も意見交換などを行いながら、団体同士・関連団体とのつながりを広げていけるよう支援していきます。

ご参加の皆様、ありがとうございました。



12/5

運営団体
情報交換会を
開催しました!

新評議員就任のお知らせ

この度、選出機関の役職交代に伴い、下記のとおり評議員に就任されました。

(敬称略)

評議員

任期

令和7年12月15日から令和11年6月に開催の定時評議員会の終結の時まで

| 選出区分 | 氏名 | 役職等 |
|---------------------|------|------------------|
| 社会福祉事業について学識経験を有する者 | 高橋 一 | 雲南市民生児童委員協議会 副会長 |

令和7年度

介護の入門的研修

「介護の入門的研修」を10月17日から19日の3日間、三刀屋健康福祉センターで開催し、雲南市、奥出雲町の20代から70代まで14名の方に参加いただきました。

この研修は、雲南広域連合から委託され、日常に役立つ介護の知識や介護職として必要な基本的な介護の知識や技術の実践的手法を学ぶ研修で、市内で活躍されている施設長さんや現場の職員にご協力いただきました。

内容は、車椅子の使い方や腰痛を予防するための方法、高齢者疑似体験では日常生活の場面での不自由さを体験しました。また、今年度は新たにVR（バーチャルリアリティ）を使った認知症体験をすることで、想像だけでは感じるることのできない認知症の方の視点に立った状況や感情を体験し、その対応について学びました。

研修会に参加された皆様からは、「介護に関する知識を幅広く知ることができた」「思いやりやきちんと接することが大切だと思った」「VR研修は来年度も続けて欲しい」「たくさんの人に理解してもらい、助け合えるような社会になるとよい」などの感想をいただきました。



三刀屋保育所 焼き芋会

さわやかな青空のもと、三刀屋保育所で恒例の焼き芋会を開催しました。

さつまいもは保育所や地域の方の畑で掘ったもの

を使い、3歳以上児が保護者の協力も得ながら焼き芋づくりに挑戦しました。「煙が出てる!」「焼き芋のにおいがする」と期待に胸をふくらませて焼き上げました。

焼き上がった焼き芋をおいしそうに味わい、秋の自然に親しむ行事となりました。



市外局番 (0854)

大東支所………… TEL 43-5610
加茂支所………… TEL 49-7306
木次支所………… TEL 42-9080
吉田支所………… TEL 74-0078
掛合支所………… TEL 62-1121

ご寄贈ありがとうございました

(令和7年12月受付分まで)

◇ 「デイサービスセンターみとや」
「三刀屋保育所」へ 米60kg

…………… 松谷和夫 様

◇ 「えがおの里」へ マスク30,000枚

…………… 島根イーグル (株) 様